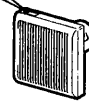


**MITSUBISHI**  
三菱パイプ用ファン(遅延タイマー付)  
**浴室用**  
取付工事説明書

**工事店さま用**

形名によって取付工事が異なりますので、  
予め使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



この製品の運転にはスイッチが必要です。  
スイッチの位置を確認してください。

**取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。**

このパイプ用ファンは遅延タイマーがついており、壁スイッチを「入」にすると4~5時間運転した後、自動的に停止、または、弱運転に変わります。

**取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。**

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、銅板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(ウェザーカバーなど)を取付けてください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

浴室用	形名	機能	グリル形状	電源仕様
	V-08PPK4-T V-12PSK4-T	遅延タイマー付 (停止タイプ)	角形タテ格子グリル	コード直付
	V-08PPKLD4-T	遅延タイマー付 (常時弱運転タイプ)		連結端子

**警告**

- 交流100Vを使用する  
直流や交流200Vを使用すると感電の原因
- メタルス張りの、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造  
営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、  
ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう取付ける  
演電・発火の原因
- 内差式風呂を据付けた浴室には取付けない  
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因
- 分解・改造はしない  
火災・感電・けがの原因

**お願い**

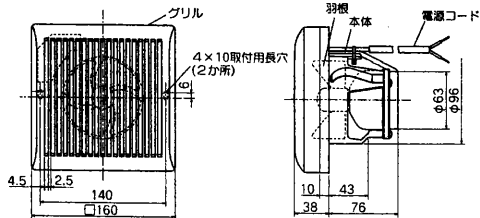
- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。  
故障の原因
- アルミプレキシブルダクトへの取付はしないでください。  
振動の原因
- システム部材(ウェザーカバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。  
壁厚により取付られない場合があります。
- グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取付けてください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

**注意**

- 直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない  
火災の原因
- 浴室内に壁スイッチを設けない  
感電の原因
- 本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に  
落下によるけがの原因
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に  
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する  
感電の原因
- 取付けの際は手袋を着用する  
けがの原因
- 部品の取付けは確実に  
落下によるけがの原因

**各部のなまえと外形寸法図**

**V-08PPK4-T**



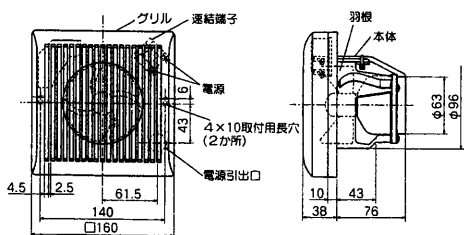
**接続パイプ径**

タイプ	パイプ径
08タイプ	φ100
12タイプ	φ150

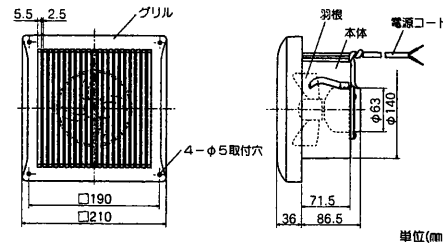
**付属部品**

タイプ	本ネジ
08タイプ	2本
12タイプ	4本

**V-08PPKLD4-T**



**V-12PSK4-T**



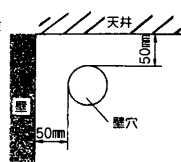
単位(mm)

**取付方法**

**1.取付前の準備**

**壁取付けの場合**

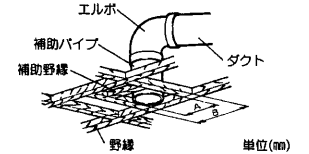
- 壁穴へのパイプの固定
- 取付け場所を決めて壁穴を開ける。  
●パイプには塩化ビニル管の溝肉(VU)管と厚肉(VP)管および銅板管があります。  
壁厚に応じてパイプの径を決めてください。



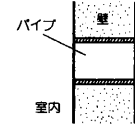
**天井取付けの場合**

**野線工事とダクト配管**

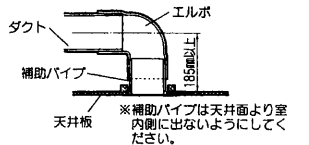
- 右図のように野線工事をし、ダクト配管をする。
- | タイプ   | A    | B    |
|-------|------|------|
| 08タイプ | □120 | □180 |
| 12タイプ | □170 | □230 |



- 壁穴にパイプを確実に固定する。  
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。  
●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。  
●パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。



- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
- エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。



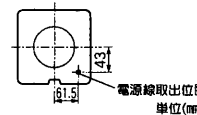
**2.電気工事**

電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

- システム部材のスイッチを取付ける場合はシステム部材に同様の取付説明書に従ってください。
  - 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
  - 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるとき電源線をささないように配線してください。
  - 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。
- ★この製品は電気用品取締法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事が不要です。

**連結端子タイプの場合**

- 電源線を右図の位置から室内に引き込む。  
電源線はVVVFφ1.6、2芯をご使用ください。
- 電源線の先端を約10mm皮むきする。



**警告**

交流100Vを使用する  
直流や交流200Vを使用すると感電の原因

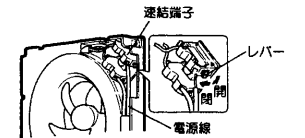
**注意**

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・  
確実に  
行う  
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因  
電気工事は必ず電気工事店に依頼する  
感電の原因

**3.本体の取付け(壁取付け・天井取付けともに同様の取付け方です)**

- グリルを本体からはずす。  
(連結端子タイプはグリル締付ネジをゆるめてから行ってください。)
- 結線をする。  
(1)電源コードタイプの場合  
●2芯ビニルキャブタイプケーブルを単相100V電源に接続し、絶縁処理をします。  
(2)連結端子タイプの場合  
●電源線を連結端子に差し込みます。  
(オレンジ色のレバーが「開」側になっていることを確認し、電源線先端を差し込み、レバーを「閉」側へ引き上げてください。)

**連結端子タイプの電源接続方法**



- お願い**
- 電源線の皮むき部分は確実に連結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
  - 電源線を軽く引っ張って連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
  - 電源線は本体面に密着させて配線してください。浮き上がるとグリルの取付けができません。

- 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の本ネジで本体を固定する。
- グリルを本体に取付ける。  
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。  
(連結端子タイプはワッシャーをグリルの外側に当てて締付ネジを締付固定します。)
- 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

